

516頭が 広い牧場でのおんびり

共同利用模範牧場一斉入牧



町共同利用模範牧場の一斉入牧が、5月23日から25日まで行われました。町内外から516頭が入牧、広い牧場でのおんびりと草を食べていました。



社会人野球 商工クラブ 全国で活躍

町内の社会人野球チーム「商工クラブ」(及川孝芳監督)が、5月10日から群馬県前橋市で開かれた第20回記念全日本選抜早起き野球大会に出場しました。全国大会では、出場前の「1勝をめざす」目標を達成しました。予選リーグ第1試合で徳島県代表に2-0で勝利。続く第2試合では、地元群馬県代表に7-10で惜しくも敗れましたが、平成23年11月の高松宮賜杯に続く通算3回目の全国大会出場で、訓子府町の名をアピールしました。

ロードレース 子どもたちががんばった

春のロードレース大会が5月24日に開かれ、幼児から大人まで323人が参加しました。

この日は、朝の気温が低い天候となりましたが、参加した子どもたちは、寒さにも負けず、元気いっぱいゴールをめざしました。



遠足。楽しいなあ 子どもたち元気に目的地へ

遠足シーズン。訓子府小学校の遠足(表紙写真も)が5月20日、訓子府幼稚園が23日にそれぞれ行われました。訓小の遠足はまずまずの天候に恵まれましたが、幼稚園の遠足は、肌寒い天候の日でした。子どもたちは、寒さにも負けず、目的地めざして元気に歩いていました。

目的地のレクリエーション公園や北見農業試験場などで子どもたちは、遊んだり、お弁当を食べたりして、楽しい一日を過ごしていました。



訓子府小学校



訓子府幼稚園



ウオツチング



開拓記念日のつどいで 町の発展を誓う

開拓記念日のつどいが5月8日、居武士小学校校庭にある旗頌碑(せいしょうひ)前と中央公園内の開基百年記念碑前で開かれ、高知県人会員ら約90人の関係者が出席。両会場で黙とうが行われ、菊池町長が町の発展を願うあいさつを行いました。

旗頌碑前では、居小全児童も参加。児童を代表して児童会書記の渡辺真友さんが先人の開拓に感謝し「豊かな訓子府をより豊かにするためにがんばります」と述べました。続いて、中央公園では、開拓から100年に当たる平成8年に高知県東津野村(現・津野町)から贈られた開基百年記念碑前で、全校仲よし会の山田怜矢会長は、先人に感謝し「開校100年を迎えた訓小の伝統を継続していきます」と誓いの言葉を述べました。

訓子府町は、明治30年5月8日に高知県の北光社移民団が現在の太谷地区に開拓に入ったことから、先人の労苦に感謝し、新たな発展を願い、毎年この時期につどいを開催しています。

開基百年記念碑前



旗頌碑前



子どもまつり・古本市を開催

大型連休中の4月29日、子どもまつりと古本市が公民館で開かれ、大勢の家族連れが詰めかけました。子どもまつりでは、似顔絵作家・みやまひろおさんによる似顔絵パフォーマンスやくじ引きなどの各種ゲームが繰り広げられ、子どもたちは、思う存分に楽しんでいました。4000冊が並べられた古本市も、子どもから大人まで大勢の人が詰めかけ、にぎわいました。

あそびの広場など子どもたちでにぎわう

子どもまつり



古本市

温水プールKAPPA

大型連休にオープン 子どもたちでにぎわう



温水プール「KAPPA」が、4月29日にオープンしました。

大勢の子どもたちが詰めかけ、流水プールなどで歓声を上げていました。

また、5月の大型連休は、寒暖の差がありましたが、まずまずの利用状況でした。



ウオツチング

